

劇団銅鑼 Since 1972

人々の暮らしに演劇が溶け込み、心豊かな
人生の糧となること——それが私たちの願いです。

1972年鈴木瑞穂、早川昭二など劇団民藝出身者を中心に発足。劇団員50名。
「平和」と「人間愛」を求め、「本当に人間らしく生きるとは何か」をテーマに活動。
日本全国はもとより海外にも活動の場を広げ、
子供たちから大人まで幅広い年齢層に、感動の舞台を届けている。
1978年以来「青少年に豊かな文化を」との願いから、
多くの作品を全国の高等学校、中学校、小学校、および劇場で上演している。
映画、テレビ、CMなど、出演者多数。

銅鑼 〒174-0064 東京都板橋区中台1-1-4 tel.03-3937-1101 fax.03-3937-1103 e-mail: info@gekidandora.com
URL: http://www.gekidandora.com X @gekidandora Facebook @theatercompanydora

「学校巡回公演」

全国の小学校・中学校等において

トップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、

将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、

芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、

文化的な地域格差の解消を促進する事を目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。

また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

「真っ赤なお鼻」の
放課後

作 大西弘記 演出 大谷賢治郎



【あらすじ】

高校2年生になる青砥雛子は卒業後の進路について悩んでいた。
それは進学や就職に対して未来への明るいビジョンがなかったから。
医療事務の仕事を見学するため病院に行った雛子。そこにいたのは真っ赤なお鼻のクラウン(道化師)だった。
何かをやりたいとか、何かになりたいとか、そういった何かがなかった雛子にやっと芽生えた夢の蕾。
その蕾を咲かせるために沢山の情熱、そして挫折とも向き合ってきた雛子に、
雛子にはどうしても応援したい存在がいた。それは母の介護により、
音楽の夢を諦めてしまった幼馴染の陽人だった。

